

平成 26 年 2 月 19 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブマネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト
沖合生産・貯油出荷施設 (FPSO) 船体の本格的な組み立て作業の開始について

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、オーストラリアで操業主体 (オペレーター) としてプロジェクトパートナーとともにイクシス LNG プロジェクト (以下、本プロジェクト) の開発作業を進めております。本プロジェクトの主要施設の一つである沖合生産・貯油出荷施設 (以下 FPSO: Floating Production, Storage and Offloading) については 2013 年 6 月より建造・建設に着手しておりますが、本日、FPSO 船体の本格的な組み立て作業を建造地の韓国オクポにて開始しましたので、お知らせいたします。

FPSO 船体の本格的な組み立て作業の開始を皮切りに、今後本プロジェクトに関連する主要設備の建造・建設が順次目に見える形で進んでいくこととなります。



FPSO 船体の組み立て



(中央) ルイ・ボン イクシス LNG プロジェクト
マネージングダイレクター

本 FPSO は、長さ約 336 メートル、幅約 59 メートルで、大型原油タンカーに匹敵する大きさです。この FPSO は、イクシスガス・コンデンセート田から産出された天然ガスの一部について、沖合生産・処理施設 (以下、CPF: Central Processing Facility) において分離処理され生産されるコンデンセートを一時的に貯蔵するもので、100 万バレル超の貯蔵能力を有します。貯蔵されたコンデンセートは、FPSO から出荷用タンカーにて出荷されます。

国際石油開発帝石株式会社 INPEX CORPORATION

本 FPSO 船体の建造作業は、韓国オクポにあるドライドックで進められ、その後進水を行い、世界各地で調達した主要機器が FPSO に上載機器として据え付けられます。建造完了した FPSO は、韓国オクポからオーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田まで約 5,600 キロメートルの距離を曳航され、水深約 250 メートルの洋上に設置・係留されます。

FPSO の本格的な組み立て作業の開始は、イクシス LNG プロジェクト推進における全体スケジュールに沿うものであり、この他の主要施設である陸上ガス液化プラント (LNG プラント)、CPF やガス輸送パイプライン等の建造・建設についても並行して作業を進めております。

当社は、今後も、本プロジェクトに関係する地域コミュニティの方々、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、このプロジェクトの成功に向けて引き続きまい進する所存です。

以上



沖合生産施設完成イメージ



沖合生産・貯油出荷施設 (FPSO : Floating Production Storage & Offloading) 完成イメージ

イクシス LNG プロジェクト

イクシス LNG プロジェクトは、当社が操業主体 (オペレーター) としてトータル社、東京ガス、大阪ガス、中部電力および東邦ガスとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNG (液化天然ガス) および年間160万トンのLPG (液化石油ガス) として生産・出荷するとともに、FPSO等から日量約10万バレル (ピーク時) のコンデンセートを生産・出荷する大規模なLNGプロジェクトです。

当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に最終投資決定しました。現在、2016年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。

特設サイト・イクシス LNG プロジェクト

イクシス LNG プロジェクトの詳細は、特設サイトにてご確認ください：

<http://www.inpex.co.jp/ichthys/index.html>